

みんなが英語を好きになる!

——豊かな学びが未来を拓く——

小学校英語に対する「現場の声」と教育改革のめざす三本の柱に則り、新しい教科書『NEW HORIZON Elementary』は、**公教育**で英語を学ぶさまざまな学習環境の**全ての児童**たちが、**楽しい学びの機会を等しく得られるように**と願って編集されました。そのためたくさんのコンテンツをご用意していますが、授業ではカリキュラム・マネジメントで適宜選びながらお使いいただくことを想定しています。「みんなが英語を好きになる!」のコンセプトのもとで、次のような編集方針と分冊構成にしました。

NEW HORIZON Elementary の編集方針

1 「もっと学びたい!」を育てる教科書

- 言語の使用場面や働きを重視し、英語を使って主体的に、深く学び続ける意欲を引き出す。
- 楽しいコミュニケーション活動の姿をゴールとし、その評価を次の学びに生かす。
- 4技能5領域の学習をバランスよく統合し、小学校での学びを系統的に中学校へつなぐ。

2 「何ができるようになるのか」が分かる教科書

- 学年テーマを設けて学習のまとまりを重視し、学びのロードマップを明示する。
- 見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導の手順を整理する。
- 活動をスモールステップで示し、短時間学習を含むカリキュラム・マネジメントに対応させる。

3 「どのように学ぶのか」を示す教科書

- 学習内容を紙面の定位置に配置し、初の教科化で不安な指導の流れを分かりやすく示す。
- 学びに役立つ音声や映像をふんだんに用意し、音のインプットを保証する。
- 別冊Picture Dictionaryでは、携帯して自学自習にも使える機能を充実させる。

NEW HORIZON Elementary の分冊構成

全3冊。本体と別冊があります。

- 用途に合わせて大きさを変えています。

● 本体：文字の書き込みやすさやカードの貼り込みやすさに配慮してより大きな判型にしました。

● 別冊：持ち運びの負担に配慮してより小さな判型にしました。

※本体と別冊の詳しい使い方は本書pp.10-19, p.22をご参照ください。

- 3分冊に計約200か所のQRコードを用意し、質の高い音声をいつでも聞けるようにしました。

※これらのコンテンツは教師用指導書付属ディスクや児童用音声CDでもご利用いただけます。



実際のコンテンツにアクセスできます。



本体 (大判 A4判サイズ)

別冊 (小判 AB判サイズ)

本体 (大判 A4判サイズ)

別冊は
2年間
使用します

小学校で学びたい語 (600~700語程度) や表現が収録されています。

- 5年生に供給され、2年間同一の冊子を「自分自身の学びの履歴」として使い続けることができます。(→本書p.22)

- 初年度には、6年生にも供給されます。



単語を4線の上に正しく書き写すときに

東京書籍小学校英語の歩み

総合的な学習の時間における国際理解教育の一環としての英語教育時代 (1998-2011)



外国語活動必修化時代 (2012-2016)



新学習指導要領告示、移行期対応時代 (2017-)



※既刊商品群や教授資料の長所を生かして、これからも「教育現場の声」に合わせた周辺教材を作り続けます。

これが NEW HORIZON Elementaryの 特色です



1 「学びたい！」をはぐくむ構成 —明確な目標のもとで評価を学びに生かす—



基本構成 たくさんの発見をしながら、外国語の見方・考え方を働かせる
8つのUnitと3つのCheck Your Steps……………8

Unit

導入 Starting Outの考え方と扱い方
音と映像で重要表現に「出会う」**[聞く]**……………10

展開 Your Turnの考え方と扱い方
ペア・ワーク、グループ・ワークで重要表現に「慣れる」**[話す]**……………12

単元別まとめ Enjoy Communicationの考え方と扱い方
巻末コミュニケーションカードで、思いを「かたち」にして「楽しむ」**[技能統合]**……………14

(オプション) Over the Horizonの考え方と扱い方
異文化情報に触れて世界を「広げる」……………16

テーマ別まとめ Check Your Stepsの考え方と扱い方
テーマ別（年3回）で学びを「ふり返り」、伝える力を「確かめる」**[技能統合]**……………18

評価 年間を通して「目標」と「評価」を一体化する指導の流れ……………20

2 「できる！」をいざなう題材内容 —学習のまとまりをテーマ別に整理する—



- 3・4年『Let's Try!』から中学校にスムーズに橋渡しする
スパイラルに登場する語や表現を集めたPicture Dictionary……………22
- 「自分」に発し、「地域」「日本」「世界」を考える そして再び「自分」を見つめる
カリキュラム・マネジメントに適したテーマ別ロードマップ……………24
- 他教科に関連して、思考力・判断力・表現力を身につける
全教科の指導時期を踏まえた単元配列……………26
- 世界の人権・多様性を考える
今日的な課題に応える題材……………28

3 「どう学ぶ？」に応える紙面と周辺教材 —英語教育に必須の「音」と特別支援を大切にする—



- 特別支援教育への配慮
活動・学習要素を定位置に配置／新4線と新ユニバーサルデザイン(UD)書体の開発……………29
- 教科書・指導書・デジタル教材の三本柱
教えやすさ・学びやすさを徹底サポートする総合ラインナップ……………30